

令和3年度 第2回 大和中学校 学校運営協議会

令和3年6月18日（金）
大和中学校 会議室

進行 副会長

1 会長あいさつ

2 議事

○令和3年度の学校経営方針の説明（校長）

○学校経営方針についての意見、質疑・応答（承認の議決）

3 「やまとの日」の活動について

○説明（学校）

○運営協議会としての関わり方について

4 意見交流（～20：20までを予定）

- ・前回の内容、配付資料について
- ・今後の協議会の在り方について 等

5 次回の開催について

月 日（ ） 時 分～ 会場：

<連絡等>

- ・6月25日（金）PTA授業参観・懇談会
委員の紹介（顔写真で）→写真撮影
会長さんのあいさつ（話）

1 改訂の経緯及び基本方針

(1) 改訂の経緯

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

こうした変化の一つとして、人工知能（AI）の飛躍的な進化を挙げることができる。人工知能が自ら知識を概念的に理解し、思考し始めているとも言われ、雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも大きな変化をもたらすのではないかとの予測も示されている。このことは同時に、人工知能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても、その思考の目的を与えたり、目的のよさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みであるということの再認識につながっている。

このような時代にあって、学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。

このことは、本来、我が国の学校教育が大切にしてきたことであるものの、教師の世代交代が進むと同時に、学校内における教師の世代間のバランスが変化し、教育に関わる様々な経験や知見をどのように継承していくかが課題となり、また、子供たちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で、これまでどおり学校の工夫だけにその実現を委ねることは困難になってきている。

こうした状況を踏まえ、平成26年11月には、文部科学大臣から新しい時代にふさわしい学習指導要領等の在り方について中央教育審議会に諮問を行った。中央教育審議会においては、2年1か月にわたる審議の末、平成28年12月21日に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（以下「中央教育審議会答申」という。）を示し

た。

中央教育審議会答申においては、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学習指導要領等が、学校、家庭、地域の関係者が幅広く共有し活用できる「学びの地図」としての役割を果たすことができるよう、次の6点にわたってその枠組みを改善するとともに、各学校において教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現を目指すことなどが求められた。

- ① 「何ができるようになるか」(育成を目指す資質・能力)
- ② 「何を学ぶか」(教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成)
- ③ 「どのように学ぶか」(各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実)
- ④ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」(子供の発達を踏まえた指導)
- ⑤ 「何が身に付いたか」(学習評価の充実)
- ⑥ 「実施するために何が必要か」(学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策)

これを踏まえ、平成29年3月31日に学校教育法施行規則を改正するとともに、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領を公示した。小学校学習指導要領は、平成30年4月1日から第3学年及び第4学年において外国語活動を実施する等の円滑に移行するための措置(移行措置)を実施し、平成32年4月1日から全面実施することとしている。また、中学校学習指導要領は、平成30年4月1日から移行措置を実施し、平成33年4月1日から全面実施することとしている。

(2) 改訂の基本方針

今回の改訂は中央教育審議会答申を踏まえ、次の基本方針に基づき行った。

① 今回の改訂の基本的な考え方

ア 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること。

郡上市の教育理念とめざす姿・育てたい3つの力

【教育理念】 凌霜の心で拓く明日の郡上市

～自立・共生・創拓の教育～
 【めざす姿】 たくましく共に生きる郡上市人の育成
 生きがいと希望にみちた社会の実現

【3つの力】 「自立」 自ら考え行動する力

「共生」 共に生きる力

「創拓」 未来を切り拓く力

大和地域の教育の目的 (案)

自立・共生

主体的に生活を切り拓き、

互いにつながり共に生きる地域社会人の育成

大和地域の町づくりの理念



ひまわりの花をシンボルとして皆さんと一緒に「人とひととのつながり」を大切にしながら、明るく元気を町づくりを進めて行きたいと思えます。

大和地域協議会

【郡上学的推進】

◇大和とのよさを知り、大和を愛する心を育てる郡上学的推進

◇一貫した短歌学習の推進(短歌作り・作品応募・小中短歌交流)

◇(中) 大和にある職業体験学習、大和(郡上)の現状を知り提言するグッド郡上プロジェクト参加

◇(小) 大和の郷土芸能・自然環境の学習(ホタル・新能・笛・神楽等)

◇(幼保) 大和の自然環境、季節、文化を体感する活動

◇地域人材・団体と連携した指導、地域への発信

◇主体的な課題追求と自分で振り返り(まとめ)が書ける。

◇自分で考え取り組む主体的な学び(自主学習の習慣化)

◇自主的な課題追求とキーワードを基に振り返り(まとめ)が書ける。

◇自分から取り組む自主的な学び(家庭学習の習慣化、課題提出)

◇楽しかったこと、見付けたことを伝えることができる。

◇興味・関心を持ち、夢中になる遊び(学び)

◇計画的・自律的な生活ができる。

◇協働して活動できる。
 ◎思いやりの心をもって誰にでも温かく接する。

◇基本的な生活習慣を確立し規則正しい生活ができる。

◇協同して活動できる。
 ◎相手の気持ちを考え優しくできる。

◇身辺自立ができる。
 ◎共同して活動できる。
 ◎身近な人と仲良くできる(親切にできる)

大和中学校の教育目標

自ら考え取り組む生徒 (主体生)

自他を思いやり行動する生徒 (思いやり)

(仮称)大和小学校の教育目標(例)

自分から取り組む子 (かしこく)

優しく助け合う子 (やさしく)

粘り強く取り組む子 (たくましく)

幼児教育センター やまびこ園の教育目標

げんきで なかよく たくましく

【幼保小中・諸機関との連携】

◇園児・児童・生徒ごとの情報共有と共通理解

◇小1プロブレム・中1ギャップ解消の取組の推進(幼保小連携、小中連携の充実)

◇子どもたちの健康に関わる取組連携(学校地域保健連絡会)

◇小中合同教科部会等の連携の会の開催

◇家庭学習強化週間の取組(ノート、レジャー)

◇「やまとの日」の開催・充実(大和地域協議会、自治会、公民館との連携)

めざす生活・活動の姿

めざす学びの姿

【教職員の共通実践】

◇個々の子どもに自己肯定感を高める指導(良さを認め広げる=位置づけ・価値付け・方向付け)

◇働き方を見つめ優先順位を考えて仕事をし、心身共に健康で、笑顔で子どもの前に立つ

【 大和中学校の教育の目的 】

自立 ・ 共生

(主体的に生活を拓き、互いを理解し合い共に生きる地域社会人の育成)

どんな大人(社会人)になってほしいか
かいしゅがあつて、まにあう人

【 大和中学校の教育目標 】

・ 自ら考え取り組む生徒 ・ 自他を思いやり行動する生徒

【 経営方針 】

- 1 「地域が誇れる大和中」を合言葉に、生徒も教職員も共に考え実践する学校づくり
- 2 保護者・地域と共にある学校づくり
- 3 「何のために」を常に考え実践する学校づくり
- 4 職員の持ち味と、職員集団の共通実践を大切にしたい働きがいのある学校づくり

【 重点と実現にむけた具体的方途 】

| 自ら考え取り組む生徒 | 自他を思いやり行動する生徒 |
|---|---|
| <p>【重点①】主体的、対話的で、見方・考え方を広げ深めることができる授業づくり (学習課題の提示がない授業、教師と生徒の一問一答で進む授業、教師が一方的にまとめる授業ゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味ややってみようという気持ちを引き出し、解決の見通しが持てる導入・学習課題の工夫 ○主体的に取り組み話し合い活動の工夫 ・定着状況や、見方・考え方の変容を見届ける方法の工夫 | <p>【重点④】自他を大切にし、違いを認め、思いやる心を育てる人権教育、「命の教育」の推進 (いじめゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他を思う心の表れとしての「あいさつ」の啓発 ○「ひまわり宣言」を題材とした生徒集会の実施 ・決めつけた見方などいじめの芽となる言動を見逃さず指導の機会とする即時指導 ・学級活動、保健体育・家庭科の授業を中心とした学校の教育活動全体を通した「命の教育」の推進 |
| <p>【重点②】自分から取り組み、自己有用感を高めることができる校内、身近な地域でのボランティア活動の奨励 (全生徒が年間少なくとも1つはボランティア活動を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会を中心としたボランティア活動の充実(「やまとの日」の実施、地域行事への参加) ○地域と連携したボランティア活動の位置づけ・価値付け(評価)の工夫 ※「ボランティア・パスポート」の定期的な記入と見届けの工夫 ○地域の自治会、公民館、関係機関、関係団体と連携した活躍機会の創出 <p>【重点③】望ましい集団活動を通して、集団や自己の課題を見つめ解決する学級活動、生徒会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校行事を核とした個と集団の指導の工夫 ※(3・4節)「めざす自分」の取組とのリンク ・年間を4期(安心・協力-団結-挑戦-自立)に分けた段階的な集団と個の指導の充実 ○自己を見つめ磨く「創自」(掃除)指導の充実 | |

【 職員の共通実践 】

- ・生徒につき、事実とその心の有り様を観て、「位置づけ・価値付け・方向付け」することで、生一人一人の自己有用感・自己肯定感を高める。
- ・問題行動等について、報告、連絡、相談により組織で対応する。(チーム大和)
- ・自己の働き方を見つめ優先順位を考えて取り組み、心身共に健康で、笑顔で生徒の前に立つ。

【 評価 】

- ・全国学力・学習状況調査結果の分析
- ・生徒アンケート(生活、授業)
- ・キャリア・パスポートの見届けと蓄積
- ・ボランティア・パスポートの記入と見届け
- ・教育活動についての自校評価アンケート(職員・生徒・保護者)
- 学校運営協議会による学校関係者評価

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

合い言葉

ステージ（節）

ステージの
目標とする姿

地域が誇れる大和中（→地域が誇れる自分）

安心・協力

挑戦

自立

大和中学校の教育目標

・誰もが安心して歩み出せる。
・声を掛け合い、仲間の声に応え、
みんなが協力し活動できる。

・頑張る仲間の姿に応え、みんなが力
を出し団結して活動できる。

・自分一人でも、自分で考え取り組む
ことができる。

集団の活動を高め、その中で、(個々が)めざす生き方をつかんでいく

めざす生き方を確かなものにしていく

【重点①】
主体的、対話的で、見方・考
え方を広げ深めることができる
授業づくり
○主体的に取り組む話し合い活
動の充実

■授業の基盤づくり
・学習規律・ルール、教科の学び方の徹底
○話し方、聴き方の形づくり
・分らないことが言い合える授業づくり
・家庭学習のやり方の指導と見届け

■学び合う授業づくり
○相手に伝える話し方の指導
○話し合い活動の工夫
・教え合える授業づくり
・自主学習(夏休みの学習)計画の指導と見届け

■自ら取り組む授業づくり
○わかりやすく伝える話し方と気持ちの価値付
け
○話し合い活動の充実
・分らないことを解決する授業づくり
・自主学習(冬休みの学習)計画の指導と見届け

■主体的、対話的な授業づくり
○課題解決に向けて、自ら考え、仲間の考え
を取り入れながら深まる授業展開の工夫
・個、学級に応じた指導

【重点②】
自分から取り組み、自己有用
感を高めることができる校内、
地域でのポランティア活動の
奨励
○生徒会の活動として
○やまとの日の計画的な取組

■みんなを取り組むボランティア
○ボランティア・パスポートの配付と意欲付け
○生徒会「やまとの日」の計画
○ボランティア活動の生徒会活動計画への位
置づけ

■みんなが取り組む一人一ボラ
ティア
○夏休み「一人一ボランティア」の計画と実施
・地域行事(清掃活動、夏祭り等)への参加・貢
献

■自分から取り組むボランティア
・自分から取り組めることを考え実行する日常
のボランティアの評価(ボランティア・パスポー
トの集計、表彰等)

■主体的に取り組むボランティア
・自分から取り組めることを考え実行する日常
のボランティアの評価(ボランティア・パスポー
トの集計、表彰等)

【重点③】
望ましい集団活動を通して、
集団や自己の課題を見つめ
解決する学級活動、生徒会活
動の充実
○「めざす自分」の取組(3、4節)

■安心して協力できる学級
・学級開き(担任第一声)
・スタートで変わらうとする子見つけ
・4月からの集まりに基づく組織決め
・願いに基づく学級目標決め
・「協力」に向けた体育祭の取組
○「創自」の導入(意味指導)

■呼びかけ応え合い団結できる学
級
・夏休みのグループ活動の計画
・「団結」に向けた宿泊研修の取組、当日の活
動
○「創自」の質の向上に向けた、めざさせた
姿の紹介、価値付け

■仲間の姿から、一人一人が自分
を見つめ、めざす自分に挑戦する学
級
・「めざす自分」の設定
・めざす自分をもとに意見を交わす組織決め
・自分の弱さと向き合い殻を破る合唱祭(中間、
前日の学活)

■自己の成長、仲間への感謝を語り
合える学級
・一人でやりきる冬休み
・年度に歩み出す取組(入学説明会、心を結
ぶ会、卒業プロジェクト)を通して自分見つめと
成長
・自己の成長、仲間への感謝をしっかりと語り

【重点④】
自他を大切にし、違いを認め、
思いや心を育てる人権教育、
「命の教育」の推進
○相手を思うあいさつの啓発
○「ひまわり宣言」に関わる取組
(呼びかけ・応え)指導

■生活の基盤づくり
・生活規律・ルールの再確認と徹底
○あいさつの定着(大きな声)
○新入生歓迎会での「ひまわり宣言」の再確
認
・自他への決めつけた見方への指導
・体育祭の取組を通したリーダーとフォロワー
(呼びかけ・応え)指導

■呼びかけ応え合う
○あいさつの向上(自分から)
○夏休みを前にしたはじめ・からからの未然防
止指導「ひまわり宣言」について見つめる集
会
・仲間の良さ見つけ
・宿泊研修の取組、当日の活動を通した「団
結」(みんなで力を合わせる)ことの指導

■自分を見つめ、相手のことを思いや
る
・後期組織づくり、合唱祭の取組を核に、自分を
見つめ、人にどう関わるかが、本場に相手のために
なるかを考えさせる指導
○あいさつの向上(誰にでも、自分から)
○ひまわり宣言「ひまわり宣言」を視点にした
短歌)

■相手を思いやり、その子らしさ
を尊重し、感謝できる
・学級解散式(自分の成長と仲間への感謝
を素直に語る)にむけた個々への指導
○あいさつの向上(相手を思うあいさつ)
○「ひまわり宣言」についての振り返り
・周りを思いやりの姿・意識の価値付け方向
付け(共生社会に向けて)

自ら考え取り組む生徒

自他を思いやり行動する生徒

「my やまとの日」の足跡



私たち、大和中生徒は、この「やまと」を大切にし、少しでも貢献していきたいと考えています。そして「地域が誇る大和中」を生徒会活動の合言葉として役立つ活動や学校生活の向上を目指しています。この歩みの中で一人一人が「地域が誇る自分(〇〇さん)」につながると思っています。このカードは、一人一人が行った「やまとの日」と同じ願いの活動を記録し、振り返るためのカードです。

地域が誇る

年 組 名前

大和地域 小・中・高生が活躍可能な行事・催し (R元年度の実績です)

| | 大和地域協議会等 | 大和地域公民館 | 各地区の公民館 ・自治会 | その他の団体 |
|-----|---|----------------------------|--|--|
| 4月 | | | 定期的に行われる地区ごとの公民館や神社の掃除 | ・年間を通した「まるっとやまと」こども記者 ・さくら道ネーチャーラン エイドボランティア |
| 5月 | | やまとスポレク祭 | ・古今伝授の里春祭り ・万場区民運動会 | ・アフリカへ毛布を送る活動ボランティア |
| 6月 | | やまとソフトバレーボール大会 | ・口大間見ホテル鑑賞会 ・万場地区ペタンク大会" | |
| 7月 | | 小学生夏休み短歌教室(小学生の補助) ※午前中 | ・町内一斉清掃 ・夏祭り ・神路スポレク祭" | ・大和中でのあいさつ運動(青少年育成市民会議) ・ママカフェ等の託児ボランティア(バンビの森) |
| 8月 | やまと夢花火の翌朝清掃 | | ・やまと駅前踊り ・夏祭り、盆踊り | ・ママカフェ等の託児ボランティア(バンビの森) |
| 9月 | | | ・区民運動会 ・長寿を祝う会(敬老会) | ・ママカフェ等イベント(バンビの森) |
| 10月 | やまとふれあい祭り中学校ブース運営 | やまとふれあい祭り「スポーツフェスティバル」 | ・剣ウォーキング大会 ・区民運動会 ・南公民館郡上かるた大会 スタッフ ・名皿部ペタンク大会 ・一斉美化運動 ・中神路花壇の花の球根植え | ・やまとふれあい祭り「中高生しゃべり場」 |
| 11月 | | やまとカローリング大会 ※午前中 | ・名皿部ふれあいサロン ・南公民館ふれあいウォーキング ・万場ウォーキング大会 | ・大和中でのあいさつ運動(青少年育成市民会議) ・ママカフェ等イベント(バンビの森) |
| 12月 | <p>これは、各自治会や公民館等にお聞きして、ここ数年の行事や催しをまとめたものです。</p> <p>その年によって開催日などは変わりますが、実施する場合は、広報無線や回覧板等でお知らせがあります。</p> | | ・北公民館しめ縄教室 ・名皿部ふれあいサロン ・東祭(古道・栗巢・牧) ・徳永3世代ボウリング大会 ・徳永門松づくり ・西公民館ジュニア講座 | |
| 1月 | | | ・北公民館スキー教室 ・牧元旦マラソン ・神路元旦ウォーク ・各地区どんど焼き ・万場公民館ボーリング大会 | ・ママカフェ等イベント(バンビの森) |
| 2月 | | | ・北公民館お菓子作り教室 ・古道公民館そば作り教室 ・西公民館ジュニア講座 ・西公民館ボーリング大会 | |
| 3月 | | | ・名皿部ふれあいサロン | ・ママカフェ等イベント(バンビの森) |

自分から地域の行事に参加して手伝ってみよう！

(その都度ボランティアの募集がある行事もありますが、募集がなくても、参加しようと思うときは先生に伝えてください。)

やまとの日 実施要項 地域清掃プロジェクト

期 日：7月14日（水） ※雨天決行

ね ら い：学校教育目標の具現に向けて、また「地域が誇れる大和中」を目指すために、

- ①自ら進んで活動する意識（自立）や一人一人が地域の一員であるという意識（共生）を高める。
- ②地域と学校がつながるきっかけとなる機会にする。
- ③学校生活での日常活動の高まりを発揮する機会にする。

活動内容：地域の施設等の清掃活動（できるところは交流会）

事前準備：□地域協議会との打ち合わせ（担当：教頭、啓太）

□清掃場所の決定（基本線は昨年と同様であるが、秋に行った活動ができない場合もある）

→6月23日（水）までに担当職員が自治会の方や活動場所の管理者などと打ち合わせておく

☑施設の開錠 ☑ゴミの処理方法 ☑掃除道具の有無 ☑交流活動について ☑雨天時の対応

→活動グループ・担当職員割り振りは、別紙参照

→活動場所の下見を行っておく。（上記☑の内容の確認も含めて）

□生徒リーダーと担当教師の打ち合わせ

→6月16日（水）までに、各地区の生徒リーダーを決定する

→6月25日（金）までに、生徒リーダーと担当職員で打ち合わせを行う。

□地区ごとに計画会を実施する。

→6月30日（水）清掃場所の確認、清掃内容の相談、役割分担、交流会の内容の相談 など

□必要備品購入（清掃用の道具など）

→特活部で、農具庫にある清掃道具の在庫を確認しておきます。

→それ以外で備品購入の必要がある場合は、曾我先生、永井先生に伝える。

◇やまとの日旗 ◇手指消毒用消毒液 ◇ゴミ袋 ◇活動記録用カメラ（スマホ）

◇振り返り用紙（当日出発前までに各学級で配付→家で記入→翌日学級委員が回収→執行部）

◇熱中症対策備品（塩分タブレット×人数、OS-1×2本）

渉 外：音声告知、自治会長さんへの依頼（6月20日） 実施要項、依頼文書、生徒作成チラシ

中学生の各家庭への協力依頼

各報道機関への取材等の依頼

バス調整（※バスを使用する地区について、バス会社に依頼する内容を加藤先生まで報告）

日 程：○午前 ①②③④（短縮授業） ○給食 ○午後 ⑤（短縮授業） ○帰りの会

○全校放送による全体会 執行部、啓太（ねらいの確認、注意事項、振り返りの方法について）

○14：30 各活動場所に向け学校発（SBも発車）

※班ごとに活動場所に到着次第、はじめの会→活動開始

○16：00 16：00をめでに活動終了

班ごとに解散→各自帰宅

スクールバスの調整ができれば、⑤をカットして、14:00に出発することを検討中

そ の 他：交流会については、地域の方々の集まる人数によるので、清掃活動のみになることも想定する。

各生徒には十分な水分を準備することや活動の合間の休憩時間を確保することを徹底する。

| 地区 | 生徒数 | リーダー | 掃除場所 | 交流会の実施 | 担当 | 竹ぼうき | ぼうき大 | ぼうき小 | 熊手 | み | その他 |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|----|------|------|------|----|---|-----|
| 大間見 | 10 | | | | 大場 | | | | | | |
| 小間見 | 7 | | | | 大場 | | | | | | |
| 上剣 | 15 | | | | 杉浦 | | | | | | |
| 中剣① | 29 | | | | 猪俣 | | | | | | |
| 中剣② | | | | | 猪俣 | | | | | | |
| 下剣① | 14 | | | | 加藤 | | | | | | |
| 下剣② | | | | | 加藤 | | | | | | |
| 名血部 | 9 | | | | 森 | | | | | | |
| 万場① | 25 | | | | 清水 | | | | | | |
| 万場② | | | | | 清水 | | | | | | |
| 徳永① | 20 | | | | 山本 | | | | | | |
| 徳永② | | | | | 山本 | | | | | | |
| 神路 | 6 | | | | 土師 | | | | | | |
| 河辺 | 5 | | | | 土師 | | | | | | |
| 栗巣(上) | 5 | | | | 木村 | | | | | | |
| 栗巣(下) | | | | | 木村 | | | | | | |
| 古道 | 5 | | | | 曾我 | | | | | | |
| 牧 | 14 | | | | 曾我 | | | | | | |
| 野口 | 10 | | | | 永井 | | | | | | |
| 福田① | 22 | | | | 濱 | | | | | | |
| 福田② | | | | | 濱 | | | | | | |
| 合計 | 196 | 6/16(水)入力 | 6/23(水)入力 | 6/30(水)入力 | | | | | | | |

その他備品が必要な場合は、特活部曾我先生、永井先生までご相談ください。

①②がある地区については、昨年は2ヶ所で行いました。本年度は、自治会との相談で決定してください。

自治会との打ち合わせの段階で、掃除場所の候補がない場合は、庁舎や道の駅などをお願いすることもあります。

やまとの日について

| 日付 | 行事等 | 生徒会 | 全校 | 清水・森 | 曾我・永井 | 他職員 |
|-----|-----|-----------|-------------|----------------|-------------|------------------------------------|
| 6/4 | 金 | | | 部会 | 部会 | |
| 5 | 土 | | | | | |
| 6 | 日 | | | | | |
| 7 | 月 | 教育実習 | | 企画委員会 I | | |
| 8 | 火 | | 縦割り剣自開始 | 打合せ (生徒会) | 渉外連絡 (メディア) | |
| 9 | 水 | | チラシづくり | | ・中日新聞、岐阜新聞 | |
| 10 | 木 | | ねらいの確認 (放送) | | ・ケーブルTV | 自治会・地域協議会へ連絡 |
| 11 | 金 | | 地区リーダー決め | | ・まるっとやまと など | SB 連絡 (加藤) |
| 12 | 土 | | | | | |
| 13 | 日 | | | | | |
| 14 | 月 | | | 提案 | | 共通理解 |
| 15 | 火 | | | | | <input type="checkbox"/> 事前準備・下見等 |
| 16 | 水 | 全研 | | ひまわり打合せ (大坪さん) | | <input type="checkbox"/> 地区 L と打合せ |
| 17 | 木 | 市教研 | 地区 L 担当と打合せ | | | <input type="checkbox"/> 担当自治会と打合せ |
| 18 | 金 | 中間テスト | | | | <input type="checkbox"/> 購入希望の有無 |
| 19 | 土 | | | | | |
| 20 | 日 | | | | | |
| 21 | 月 | | ひまわり種まき募集 | | 道具確認・備品購入 | 文書発送 (教頭・清水) |
| 22 | 火 | | | | ・外用具庫にあるもの | |
| 23 | 水 | | | | ・購入希望があるか | SB の調整完了 (加藤) |
| 24 | 木 | | | | ・地域施設にあるもの | |
| 25 | 金 | 授業参観 | | | | 音声告知依頼 |
| 26 | 土 | | | | | |
| 27 | 日 | | | | | |
| 28 | 月 | | ひまわり種植え | | | |
| 29 | 火 | | | | | |
| 30 | 水 | | 地区別計画会 | | | 地区別計画会 |
| 7/1 | 木 | | ・流れ | | | |
| 2 | 金 | | ・分担 | | | |
| 3 | 土 | | ・交流会計画 | | | |
| 4 | 日 | | | | | |
| 5 | 月 | | ひまわり水やり | | | |
| 6 | 火 | | | | | |
| 7 | 水 | | | | | |
| 8 | 木 | | | | | |
| 9 | 金 | | | | | |
| 10 | 土 | | | | | |
| 11 | 日 | | | | | |
| 12 | 月 | | ひまわり苗植え候補 | | | |
| 13 | 火 | | ・特別日課検討 | | | |
| 14 | 水 | やまとの日 | やまとの日 | やまとの日 | やまとの日 | やまとの日 |
| 15 | 木 | | | | | |
| 16 | 金 | | | | | |
| 17 | 土 | | ・団別 | | | |
| 18 | 日 | | ・学年別 | | | |
| 19 | 月 | | ・学級別 | | | |
| 20 | 火 | 全校集会 | | | | |
| 21 | 水 | 夏季休業日スタート | | | | |

随時、打合せや主任打合せ等で、確認しながら進めていきます。

自治会との打ち合わせで変更されていくこともあると思います。よりよい活動になるように、各地区の計画・準備をお願いします。

絶対咲かせる

文責 ボランティア担当
清水 啓太

4月12日(月)郡上旬菜館の大坪様との懇談を経て、日程が定まってきたので、先生方とも共有させていただきます。全校への周知は、執行部との相談の上、おろしていきます。

■大和中学校ひまわり満開プロジェクト(仮)

畑の使い方について

| | | | |
|----|-----|----------|-------------|
| 作付 | 「畑」 | ひまわり用として | 技術科等の野菜畑として |
| | 17a | 15a | 2a |



| | | | |
|------|-----|------|--------|
| ひまわり | 面積 | 種子 | 苗数 |
| | 15a | 900g | 4,500本 |

支出予測

| | | | | | |
|----|----------|-----------|------------|----------|------------|
| 支出 | セルトレイ | 土(BM2) | 種子 | 肥料 | 耕起 |
| | 128穴 35枚 | 3袋(40L/袋) | 5袋(200g/袋) | 固型30号 6袋 | 17a |
| | 154円 35枚 | 1,300円 3袋 | 1,100円 5袋 | 苦土石灰 8袋 | 8,000円 1.7 |
| | 5,390円 | 3,900円 | 協議会予算より | | |

→ 9,290円(福祉予算より捻出) ※購入までは協議会でやっていただける

予定について

(1) セルトレイに土を馴染、種を植える活動

候補日 … 6月28日(月)、29日(火)、30日(水)、7月1日(木)、2日(金)

昼休みを活用して40人弱のボランティアを募って実施(雨天決行)

人数が多い場合は校舎の花壇に種を植える活動を加える。

そこから、2週間水やりを1日3回実施する。これもボランティアで当番を決めて行う。

(2) 定植(苗を畑に植える活動)

候補日 … 7月15日(木)、16日(金)、19日(月)、20日(火) ※夏休み前最終日

畝(うね)に水分を含ませる。(前日が雨なら必要ない)

晴れた日をねらって実施する。

7月14日(水)までに畑をおこしていただく。

(3) 開花予想は8月18日~9月5日

☆希望的観測では、夏休み明けに満開になっている。学級写真などをとれると嬉しいですね。